

## 令和5年度 第3回学校運営協議会記録

1. 日時 令和6年2月5日(月) 14:20~15:30
2. 場所 本校校長室
3. 出席者 大阪教育大学 廣木義久 理事・副学長  
八尾市内学習塾 児玉 隆 代表  
八尾市立成法中学校 柿並祥之 校長  
八尾市立八尾小学校 菊池妙子 校長  
本校同窓会 松村康隆 副会長  
本校PTA 久野明男 会長  
本校  
山上校長 伊藤事務長 中村教頭 中出首席 水野首席 久米進路指導部長

#### 4. 内容

次の項目について事務局の説明を行い、そのうえで委員による協議。

- ・『令和5年度学校評価』『令和6年度学校経営計画』について
- ・令和5年度学校教育自己診断結果分析
- ・令和5年度授業アンケート結果について
- ・76期生徒の共通テスト及び国公立大学、私立大学の出願数及び合否について
- ・令和6年度使用副読本について

協議における委員の主な意見等は次のとおり。

- 学校教育自己診断において生徒の満足度が高いので、いい高校生活を送っていることが想像できる。
- 自宅での学習時間が少ないように思う。
- 部活動の加入率が9割を超え、のびのび活動しているようで、いいことである。バランスが難しいが「勉強、勉強」と言いすぎて、八尾高校のいいところがなくなることには疑問である。
- 子どもが楽しそうにのびのびした学校生活を送ることができた。
- 10~15年前に比べずいぶん変わった。特に進路実績はよく上がっている。
- 大阪教育大学を受験する生徒が多いようだが、学校が楽しいから先生になりたいと思う生徒が多いのではないかと。また部活動をしていた生徒もそういう傾向になるように思う。
- 同窓会の活動を生徒に周知することで同窓会の活性化につながり、今後の八尾高校の発展にさまざまなかたちで寄与できると考える。もう少し生徒に同窓会の支援や協力などについて周知する機会を増やしてほしい。